

慶應義塾幼稚舎

[塾長] 伊藤 公平

[舎長] 杉浦 重成

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 2-35-1 Tel. 03-3441-7221 <https://www.yochisha.keio.ac.jp/>

【交通】東京メトロ日比谷線広尾駅下車徒歩5分

「**独立自尊**」の教えのもと、
「**独立**」とともに「**共生**」を、「**自尊**」に加えて「**他尊**」を目指す

わが国最古の伝統を誇る学舎

慶應義塾幼稚舎は、1874（明治7）年に福澤諭吉の委嘱を受けた門下生の和田義郎が、年少者の塾生を集めて教育を行ったのが始まりです。幼稚舎はわが国で最も古い私立小学校の一つで、2024（令和6）年には創立150年を迎えました。

社会全体の枠組みが大きく変化している今、古いものをただそのまま守るのではなく、合わなくなったものを改め、進取の精神をもってよいことを採り入れる、慶應義塾の伝統とは、そのようなダイナミックな過程を指しています。

幼稚舎では、福澤諭吉の教育理念である「独立自尊」の教えを重視します。また、「独立」とともに「共生」を、「自尊」に加えて「他尊」を大切に子どもたちの育成を目指しています。

6年間担任持ち上がり制と教科別専科制

特色としてまず挙げられるのが、6年間担任持ち上がり制です。このシステムは1898（明治31）年、幼稚舎が純然たる小学校になってから続いているものです。6年間クラス替えがなく、基本的に担任も代わりません。担任は長い目で、児童の成長と発達を見守ります。児童同士は、6年間の共通体験をもとに友情を育みます。担任は国語や社会、算数などを受け持ちますが、それ以外の科目は、それぞれ専門性の高い専科教員が受け持ち、担任と同様に多くの専科教員が児童を見守ります。

厚みのある、慶應義塾ならではの教育

健康とスポーツ ●「先ず獣身を成して、後に人心を養う」という福澤諭吉の言葉が示すように、体体育成と健康増進は幼稚舎教育の基本です。海浜学校や高原学校では、海や山に出かけ、大自然の環境に親しみ、集団生活のルールを学び、心身を鍛えます。

身体の鍛練の一つとして「幼稚舎生皆泳」を目標に、卒業までには全員が1000mを泳げるように努めています。

国際交流 ●イギリスのドラゴンスクールと長年にわたって交流しており、毎年12名程度の児童が互いの学校を訪問して一緒に授業やスポーツを行っています。教員スタッフの相互交流も推進しています。このほか、夏休みにはイギリスで行われるサマースクールや、慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）の寮に宿泊し、ニューヨーク郊外でサマーキャンプに参加するプログラムなどがあります。また、ハワイのプナホウスクールとの交流プログラムもあります。

豊富に用意された学校行事 ●教室等における日々の授業が楽しくわかりやすく行われることは重要なことです。しかし、教育は単に教室等だけで行われるのではなく、全人的な教育を行うには多様な場が必要だと考えています。そのため幼稚舎では様々な行事が用意されています。そして得意なもの、興味あるものを、この中から一つでも見付けて、自分から物事に働きかけていく姿勢を身につけてほしいと願っています。

最先端のICT環境と情報教育 ●教室には大型液晶ディスプレイと無線LAN環境が整備されるとともに、児童が1人1台のタブレット端末を使用できるICT環境を構築しています。情報の専任教員による最先端の教育のみならず、普段の授業から文房具の一つとして学習活動に採り入れています。

上級学校に
進むには

幼稚舎から中学校（普通部・中等部・湘南藤沢中等部）への進学は、幼稚舎長の推薦に基づいて行われますが、三つの中学のいずれに進学するかは、本人が自由に選択できます。



沿革

1874（明治7）年、福澤諭吉の門人の一人、和田義郎の私塾が前身。当初は、和田塾と称していたが、1880（明治13）年に、幼稚舎と称するようになった。1898（明治31）年の全塾の学事改革により、幼稚舎は純然たる小学校になった。

2027年度募集要項

募集人員：男子96人、女子48人
志願書受付期間：10月1～2日（この期間の消印有効）
受験料：30,000円
選考日：11月1日～11月10日のいずれか1日
合格発表：11月中旬
【かかる費用（2025年度参考）】
入学金：340,000円
授業料：1,020,000円
教育充実費その他：340,000円
初年度納入金総計：1,700,000円

併設中学進学状況（2026年度）

- ◆慶應義塾普通部（男子55人）
 - ◆慶應義塾中等部（男子34人、女子45人）
 - ◆慶應義塾湘南藤沢中等部（男子5人、女子3人）
- ※原則として希望者全員が進学可能

データパック

- ◆児童数864人／教員数：専任47人、非常勤講師30人
- ◆2026年度志願者数：男子846人、女子592人
- ◆合格者数：男子96人、女子48人

【併設校】

- 慶應義塾横浜初等部
- 慶應義塾普通部
- 慶應義塾中等部
- 慶應義塾湘南藤沢中等部・高等部
- 慶應義塾高等学校
- 慶應義塾志木高等学校
- 慶應義塾女子高等学校
- 慶應義塾ニューヨーク学院（高等部）
- 慶應義塾大学
- 慶應義塾大学大学院